家庭園芸

11月の園芸センターだより

今年は紅葉することなく散ってしまった樹が多く、さびしい秋となりました。しぐれることも多く、冬のしたくが急がれます。洋ラン、観葉植物、熱帯花木などの鉢物は、室内へ入れましたか。霜の降りる前に取り込みましょう。冬囲いの縄やコモ竹なども点検しておきましょう。

これからの園芸の楽しみは室内の鉢花です。鉢花の量や品目は、今が一番多い時期です。年々季節感の先取りで、暮れの花がすでに出回っています。ポインセチア、シクラメン、アザレア、プリムラ類、カランコエなど……。窓辺のよく日様の当たる場所で管理しましょう。

今月の催し物としては、二日から四日に小品盆栽展（緑心会）、三日から十日に菊花展（剪作講座受講者の作品）、二十三日から二十四日に洋ラン展（新潟らん友会）が開催されます。どうぞおいでください。

なお、現在センター周辺は、下水道工事に付き、通行などにご迷惑をおかけしますがご了承ください。

（園芸センター）

松風

菊まつり

菊花の薫る良い季節となりました。あちこちで菊まつりが催され、丹精込めて育てられた菊の鉢をたくさん見せていただくことができるわけで大変楽しみにしております。私には菊づくりの経験はありませんが、とくに菊づくりは一年を通じて土をつくったり、幼苗から順次大きくなるにつれて大きな鉢に移し替えたり、防虫や水やりなど大変手間のかかる作業があると聞いております。

菊の中でもやはり大輪の菊の花は圧巻だと思います。肉厚の花弁の一枚一枚が寳が湧き昇るように美しい半球形に盛り上がっています。何か素晴らしい生命力が内部から溢れ出るような感じを与えてくれます。そして太い茎にこれも肉厚の濃緑の葉が交互にしっかりとついていて、いかにもこの美しい花にはこのしっかりした緑の葉が必要だと思わせる説得力を感じさせるから不思議です。また懸崖づくりの枝の展開ぶりと、この広く張った枝一面に、一斉に花が揃って咲いている妙はまさに見事というほかはありません。日々にのびる小枝を一本づつ針金などで枠に結びつけ形をつくる作業を年間を通じて丹念に続けてこられた成果であります。加えて今年は長梅雨、多雨、日照不足そしてあの気象台観測史上最大の強風と塩害という悪条件も重なりました。不順な気候や害虫の発生などを防いで美しい花を咲かせるにはまさに年間を通じての細心の注意の継続が必要であったと思います。菊づくりをする人々の粘り強さ、生真面目さに感嘆の思いをさせられます。鉢物栽培にとって一番の肥料は主人の足音、つまりいかに足繁く鉢の側に立ってやれるかが重要だということですが、やはり何事によらず、物事を成すには、なかなか凡人にはできないことですが、一心に思い続け、継続してたゆみない努力を続けることが一番大切なのだと思います。美しく咲いたきれいな菊の花のかげにたゆみない努力を感ずることのできる菊まつりはやはり楽晴らしい催しだと思います。

（十一月三日）

新潟市長　長谷川栽明

〝写してください新潟 景観フォトコンテスト〟

市長賞に小柳さん・青木さん

271点の応募

新潟らしい景観を見つけてもらおうと、市では〝写してください新潟・景観フォトコンテスト〟と題し、みなさんからの作品を募集しました。

寄せられた作品は、各所の美しい景観をとらえた第一部、景観を背景にしたファミリー写真の第二部を合わせて二百七十一点にのぼりました。みなさんの景観への関心が高まってきているようです。

作品では、見る人に「これが新潟だ」と感じさせる景観、その中で楽しそうに過ごす家族など、新潟のさまざまな場所が被写体に選ばれています。作品展でも多くの人が応募作品を観賞していました。

市長賞などに選ばれた二十二人は次のとおりです。

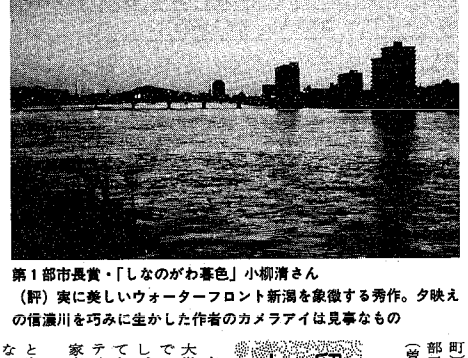
（敬称略）

◉第1部

▽市長賞　小柳清（小針西1）▽優秀賞　横山嘉一（本町通9）▽奨励賞　小熊寿美子（沼垂西1）▽入選　田辺修三（中央野）、佐藤健二（鐙西2）、江部勇（酒屋町）、鎌倉正夫（天明町）、阿部三大（小新二）、皆川菩作（曽川甲）、石黒達也（川端町5）、田浦新吾（五十嵐3の町）、板橋昭彦（豊栄市）、福田治子（小針西1）

◉第2部

▽市長賞　青木丈夫（白山浦町）▽優秀賞　佐藤健二（坂井東2）、田代雅春（西湊町通3）、横山嘉一、長谷川智也（大学南1）、富取和枝（月町）、柴田豊（東明5）▽奨励賞　田辺修三▽入選　阿部三大、長谷川健一（弥生町）、小林七重（小新）、前田忠男（白山浦1）、大野愛子（小針西1）



第1部市長賞・「しなのがわ暮色」小柳清さん

（評）実に美しいウォーターフロント新潟を象徴する秀作。夕映えの信濃川を巧みに生かした作者のカメラアイは見事なもの

評　審査委員長・羽賀廉夫さん（写真家）

多数の作品が寄せられ、改めて景観に対する関心の深さに感動させられました。ファンタジックな夕景や夜景の作品、さわやかな緑の風を感じさせる作品、人間味あふれる作品など、どの作品をとっても新潟の美しい景観を見事に表現したものといえます。

留学生に家庭体験を ホームステイ先を募集

市国際交流協会では市内の大学・短大・専修学校で学んでいる留学生を家庭に招待し、新潟の家庭生活を味わってもらおうと留学生ホームステイ事業を計画、受入れ先の家庭を募集します。

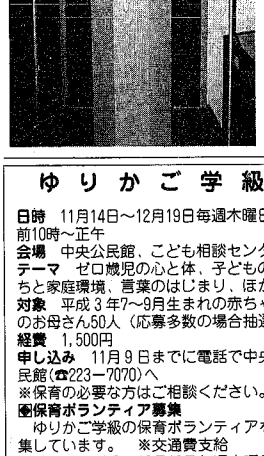
これは留学生の生活が学校と寮やアパートなどの往復になりがちで、市民とふれあう機会がなかなかもてないことから、新潟の家庭生活を体験し新たな発見をしてもらおうというもの。また市民のみなさんにも一泊だけですが、国際交流を体験していただこうというものです。多くの応募をお待ちしています。

実施期日　一期…十二月七日～八日、二期…一月四日～五日

募集世帯数　各期二十世帯の計四十世帯（応募多数の場合は抽選）

応募方法　はがきに一期・二期どちらかの希望、住所、氏名、年齢、電話番号を記入して十一月八日（必着）までに市国際交流協会（上大川前通六、新潟国際友好会館内☎226－2053）へ

あす4日で開通105年 初代万代橋の親柱を展示



あす十一月四日は初代万代橋が開通して百五年目。郷土資料館ではその親柱の修復をこのほど終え、館内の万代橋のコーナーに展示しています。＝写真＝

この親柱は明治四十一年の大火で橋とともに焼失したとされていましたが、一昨年十一月に柏崎で見つかり帰郷したもの。傷みが激しいため自然乾燥などに時間をかけ、太い八角形もそのままに、新しい柱に継いで往時の姿を見せています。

同コーナーにはこの親柱も描かれている「新潟萬代橋」図二代目万代橋の親柱で作った火鉢なども展示しています。どうぞご覧ください。

市民憲章　わたしたちのめざす新潟

信濃、阿賀野のゆたかな川の流れが海にそそぎいるところ、ここがわたしたちのまち新潟。日本海に沈む夕日が美しい。海のかなたの国々ににむけて開かれたこの港まちは、流れのほとりの木のように、いよいよ育ち、栄えている。人びとは、昔から、力を合わせ、ねばり強く、この自由な開かれたまちを築いてきた。

さあ、わたしたちも、いま、たしかな一歩を踏み出そう。

わたしたちが望む新潟をめざして！

ゆたかな海の幸と田畑のみのり。
新潟は、自然がいかされ、まもられるまち。

働くよろこび、憩いの静けさ。
新潟は、活気にあふれ、落ちつきのあるまち。

すこやかな生活は、わたしたちすべての願い。
新潟は、みんなで生きるために、助け合うまち。

はぐくむ心が、いのちを育てる。
新潟は、一人ひとりが大切にされ、いかされるまち。

海のむこうは、友となる国々に。
わたしたちは、世界の平和のかけ橋となる。

（平成元年4月1日制定）

ゆりかご学級

日時　11月14日～12月19日毎週木曜日午前10時～正午
会場　中央公民館、こども相談センター
テーマ　ゼロ歳児の心と体、子どもの育ちと家庭環境、言葉のはじまり、ほか
対象　平成3年7～9月生まれの赤ちゃんのお母さん50人（応募多数の場合抽選）
経費　1,500円
申し込み　11月9日までに電話で中央公民館（☎223－7070）へ
※保育の必要な方はご相談ください。

◉保育ボランティア募集
ゆりかご学級の保育ボランティアを募集しています。　※交通費支給
日時　11月14日～12月19日毎週木曜日午前9時45分～正午
保育対象児　2カ月～4カ月児
問い合わせ　中央公民館へ

洋ラン講座

日時　11月7日午後1時半～3時半
会場　園芸センター　**定員**　先着50人
申し込み　きょう3日から電話で会場へ

有明児童センター

（☎267－7311）

◉こども秋まつり
日時　11月3日午前9時半～午後1時半
内容　子どもたちによる出店、子ども工作コーナー、子どもみこし披露、ほか

◉みんなでビデオ
日時　11月16日・30日午後2時～
内容　ウルトラマンG、ミュータント・タートルズ

◉牛乳パックで年賀状つくり
日時　11月30日午後1時半～
対象　小学生先着20人
参加費　150円

日本海タワーが休業

日本海タワーは、台風の被害に伴う回転展望台補修工事のため、年内いっぱい休業します。
問い合わせ　㈶新潟水道サービス（水道局内☎266－9311）へ